

議会PR委員会会議録（要点筆記）

日時：令和8年2月16日（月）

午後4時10分 開議

場所：委員会室

○委員長（芳金秀展）

ただ今から、議会PR委員会をはじめます。

本日は、高校生との交流会の振り返りと、eモニターアンケートの分析を行い、次年度への引継ぎに向けたアイデア出しをしたいと思います。

協議題1「半田市議会と高校生との交流会ふりかえりについて」を議題とします。

(1) アンケート結果について、半田農業高校では、専門性を活かしたテーマ設定により、回答者の100%が社会参画への手応えを感じたと回答しています。半田東高校でも約7割が肯定的な反応でしたが、時間が短い、あるいはテーマをまとめる難しさを実感したという声もありました。交流会に参加した議員アンケートでも、交流の時間が足りなかったという意見が多く、今後の参考にしたいと考えます。

委員の皆さまからも何かご意見、ご感想などありましたらお願いします。(2)の次年度以降の交流会のあり方についても併せてご協議をお願いします。

しばらく休憩します。

休憩 午後4時13分

再開 午後4時25分

○委員長（芳金秀展）

会議を再開します。

交流会の振り返りについて、アンケート結果を見る限り、一定の成果があったと評価するとのこと意見をいただきました。一方で、共通して出された「対話時間の不足」という課題は、私の進め方が少し欲張りすぎた面もあったと反省しています。委員の皆さんからのご意見でもあった通り、議員と生徒がしっかりと対話できてこそ、この事業の意味があります。今後は、1時間という限られた授業枠の中でも、深いやり取りができるよう内容を研ぎ澄ませていく必要があります。また、市内5校を一巡した今、来年度以降も「継続すること」が何より大事だという点でも一致しました。各学校で実施する際のノウハウを「パッケージ」として整え、誰が委員長になってもパルクせず引き継げる体制を作っていきたいと思います。

以上の内容にご異議ありませんか。

【「異議なし」との声あり】

次に協議題2「eモニターアンケートの分析結果について」を議題とします。

今回実施した9問の問いかけについて、私なりにデータを整理しましたので共有します。まず「市議会の認知度」ですが、年代別で見ると明確な傾向が出ています。50代以上はある程度の認知がありますが、ターゲットとしている20代から40代では「全く知らない」「あまりよく知らない」という回答が非常に多くなっています。PR戦略のターゲット層である、20代から40代の子育て世代への周知が依然として課題です。次に「議会の活動をどのように知ったか」という点ですが、回答のほとんどが「市議会だより」でした。一方で、SNSやホームページは十分に機能していないことが分かりました。ここを強化することで、認知度を高める余地が大きくあると考えられます。「議員の活動への関心」については、60代が高いのは予想通りですが、20代も比較的関心が高い傾向にあります。それが30代、40代になるにつれて一旦減り、現役世代を超えるとまた上がっていくという形です。20

代の関心がある時期にしっかりと手を打つことが、その後の世代への響き方を変えるのではないかと感じています。また「市議会だより」そのものについても、20代の約4割、30代の約2割が「発行自体を知らない」と回答しています。町内会等を通じた配布だけではこの世代に届いていない可能性が高いため、広報誌編集委員会とICT推進委員会とも情報共有しながら、手法以外の手段を検討する必要があると感じました。

委員の皆さまからもご意見がありましたらお願いします。
しばらく休憩します。

休憩 午後4時29分
再開 午後4時34分

○委員長（芳金秀展）

会議を再開します。
他に何かご発言などありましたらお願いします。

○中村和也委員

質問項目9の情報源の選択肢に「議員個人の活動報告やSNS」が含まれていなかったため、普段取り組んでいる活動が反映されませんでした。次回の設問にはぜひ入れて欲しいです。

○委員長（芳金秀展）

個人の活動も情報源として重要ですので、来年度の調査では設問を改善するよう引き継ぎたいと思います。今回の分析はあくまで表面的なものですが、これをスタート地点として継続的に定点観測を行い、数値を上げていくための戦略を考えていきたいと思いますがよろしいでしょうか。

【「異議なし」との声あり】

次に、協議題3「その他」を議題とします。
次回の委員会において、次年度への引継ぎ事項をまとめたいと考えています。
しばらく休憩します。

休憩 午後4時37分
再開 午後4時42分

○委員長（芳金秀展）

会議を再開します。
交流会事業については、理想論も含めて非常に良いアイデアを多くいただきました。従来の学校単位の交流会をベースにしつつ、平日の学校だけでなく、土日にも公募制で集まる「若者会議」のような形、あるいは10代から20代後半まで幅を広げたアプローチなど、より柔軟な手法を検討項目として盛り込みます。「10年後のまちづくり」といった、若者が主体的に考えられるテーマ設定や、議会としてそれを受け止めて形にするプロセスまでをセットにしたパッケージ案を作成し、次回の最終日にしっかりと引き継ぎ書としてまとめたいと思いますがよろしいでしょうか。

【「異議なし」との声あり】

他に何かご発言ありましたらお願いします。

【「なし」との声あり】

以上で、本日の委員会を終わります。

散会 午後4時44分